

TK MAX 金融・経済レポート 公式解説資料

台湾のリアルを数字で見る

2026年、成長と脆弱性が交錯する最前線のデータ・ダッシュボード

徹底した「中立」と「透明性」の誓い

本ダッシュボードは、投資助言や特定のイデオロギーの喧伝を目的としません。公開データに基づき、バイアスのない現実を提示します。



バイアスなき公開データ主義
(Unbiased Open Data)



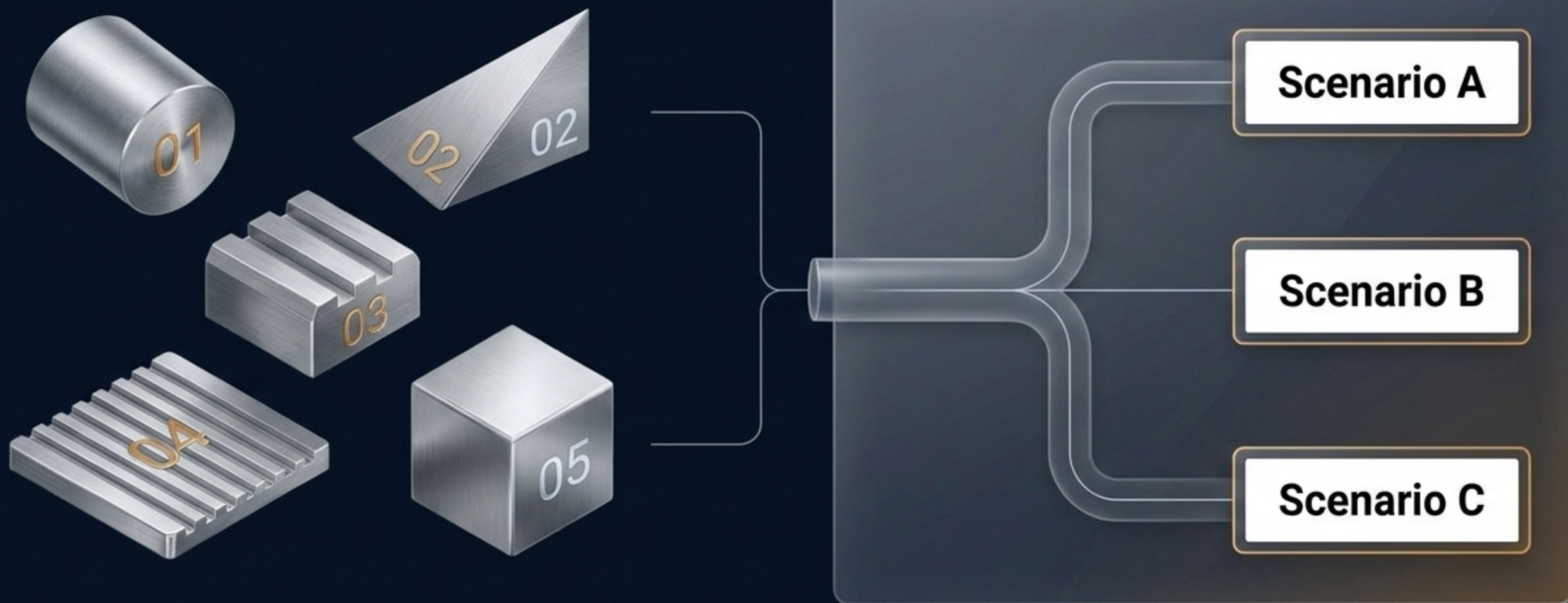
非営利・完全無料
(Non-profit & Free)



広告なし
(Zero Ads)

提示されたパズルを組み立てるのは、あなた次第。

これは結論を押し付けるレポートではありません。公開データから抽出された「5つのモジュール」を組み合わせ、あなた自身が台湾の未来を予測するためのシミュレーターです。



2026年の台湾を支配する「相反する2つの顔」

光 - Growth

記録的な経済成長：

AI需要が牽引する約40年ぶりの飛躍



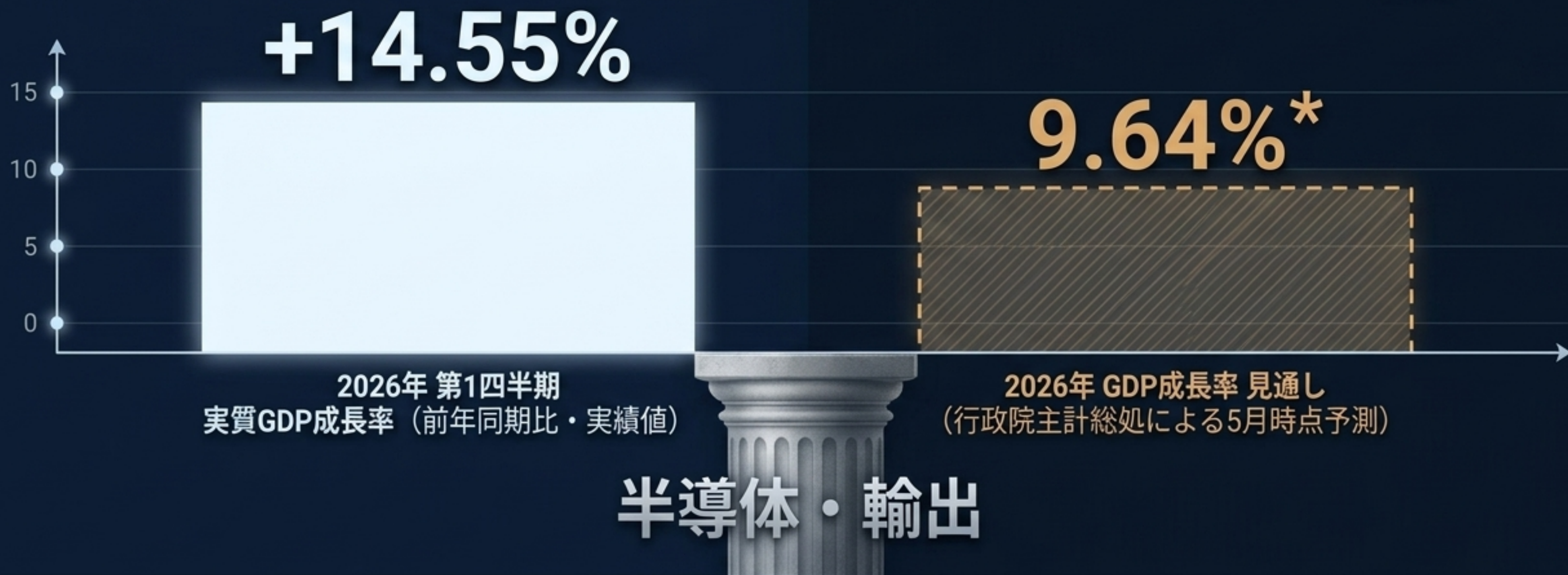
影 - Vulnerability

構造的な脆さ：

一国一産業への極端な依存と
複合的リスク

[01] マクロ経済と半導体主導成長

GDP1兆ドル突破が見込まれる一方、成長の恩恵は輸出（外需）と設備投資に偏重しており、民間消費の伸びは相対的に緩やか。



[02] 貿易構造と対米関税リスク

対米投資の拡大は、市場アクセス確保の「合理的なリスク分散」か、それとも「シリコンシー
ルドの弱体化」か。両論が交錯する転換点。

相互関税率：15%

(米台通商合意・一般品目)

232条追加関税：25%

(国家安全保障・半導体対象)

Taiwan

USA

Taiwan

TSMC 対米投資：2,650億ドル

※2020年からの累計額

[03] 人口動態と世界最低水準の出生率

高い物価と住宅費が共働き世帯を圧迫。将来の「兵力確保（対中抑止力）」に直結する、台湾固有の安全保障上のアキレス腱。



[04] 安全保障と立法院の「ねじれ」

米国からの要求と巨大な脅威に挟まれる中、国内では「ねじれ国会」により予算執行に不透明感が漂う。

中国
国防費: 約43.4兆円

台湾
2026年度国防予算案:
9,495億 台湾ドル



2025/12/30
単日 過去最多
130機の軍用機確認

台湾政府案(2026)

GDP比 **3.32%**

台湾目標(2030)

GDP比 **5%**

米国要求

GDP比 **10%**

[05] 台湾を支える大黒柱：先端半導体の集中

「シリコンシールド（盾）」は有効か？
世界の依存度が台湾の安全を保障するという仮説を巡り、専門家の意見は二分されている。



CoWoS月産能力計画

2026年末目標：
12万～14万枚
(約4倍)

2024年後半：
約3.5万枚

事実には常に「2つの解釈」が存在する

本ダッシュボードは結論を出さない。
以下の視点からデータを多角的に検証する。



輝かしい飛躍

[半導体主導成長]

内需を欠いた偏った成長

合理的なリスク分散

[対米投資拡大]

シリコンシールドの弱体化

遅すぎた正当な対応

[国防費の大幅増]

外圧による増額と
執行の不確実性

先進国共通の構造的現象

[少子化の進行]

兵役適齢人口減による
独自の安保リスク

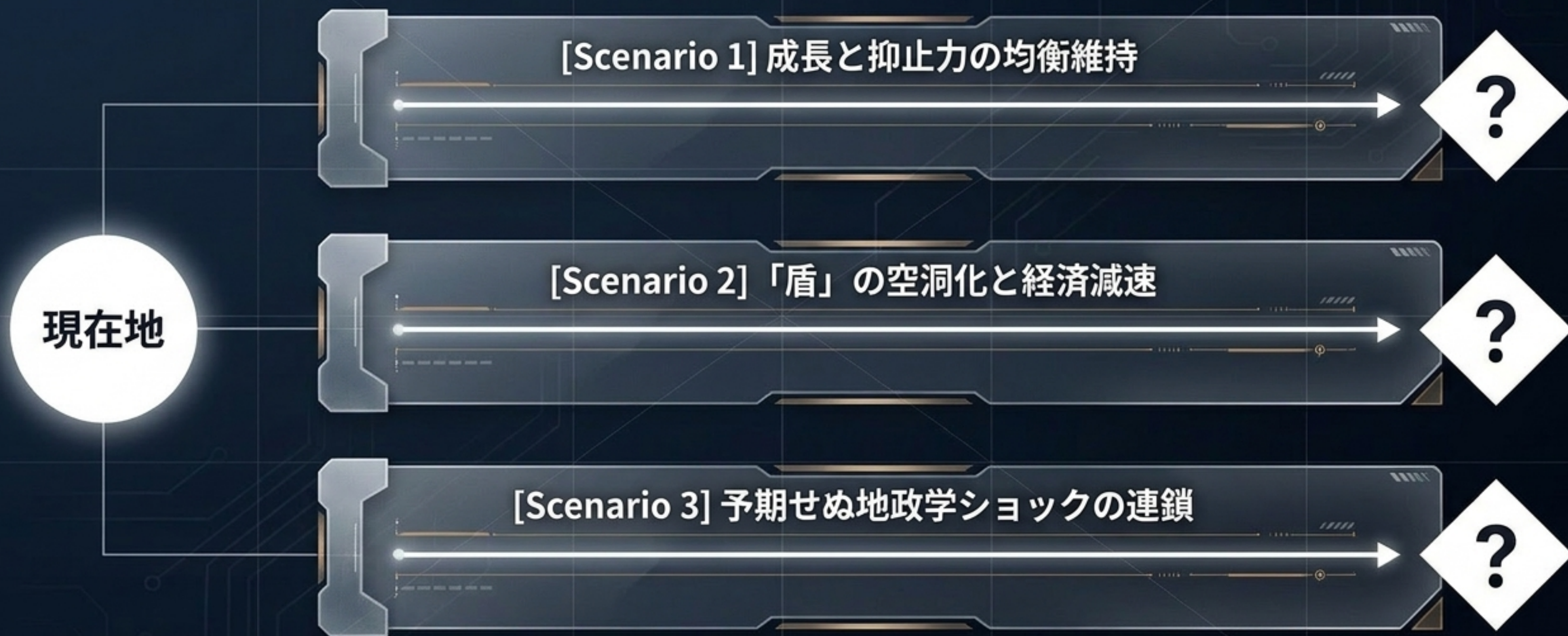
5つのピースが連動する「台湾リスク・システム」

個別のデータポイントは独立していない。一つの変数がシステム全体に波及する。



シミュレーションの開始：2026年以降の台湾

ダッシュボード上で各変数の影響度を動的に確認し、あなた自身の目で未来のシナリオを検証してください。



パズルを完成させるのは、あなたです。

「台湾のリアルを数字で見る」ダッシュボードへアクセスし、バイアスのないデータからインサイトを抽出してください。



TK MAX | tk-max-site.vercel.app

※本資料及びダッシュボードは独立した分析目的のコンテンツであり、投資助言や政策提言を目的としたものではありません。